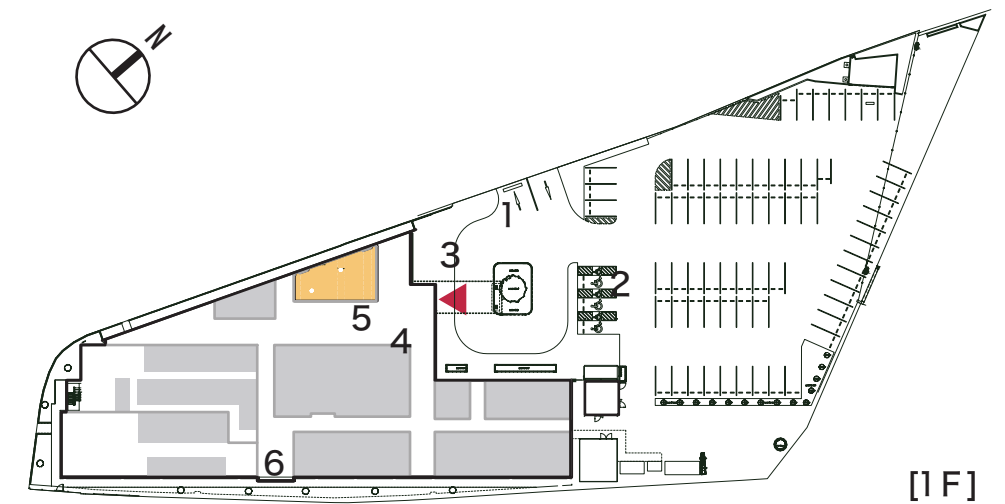
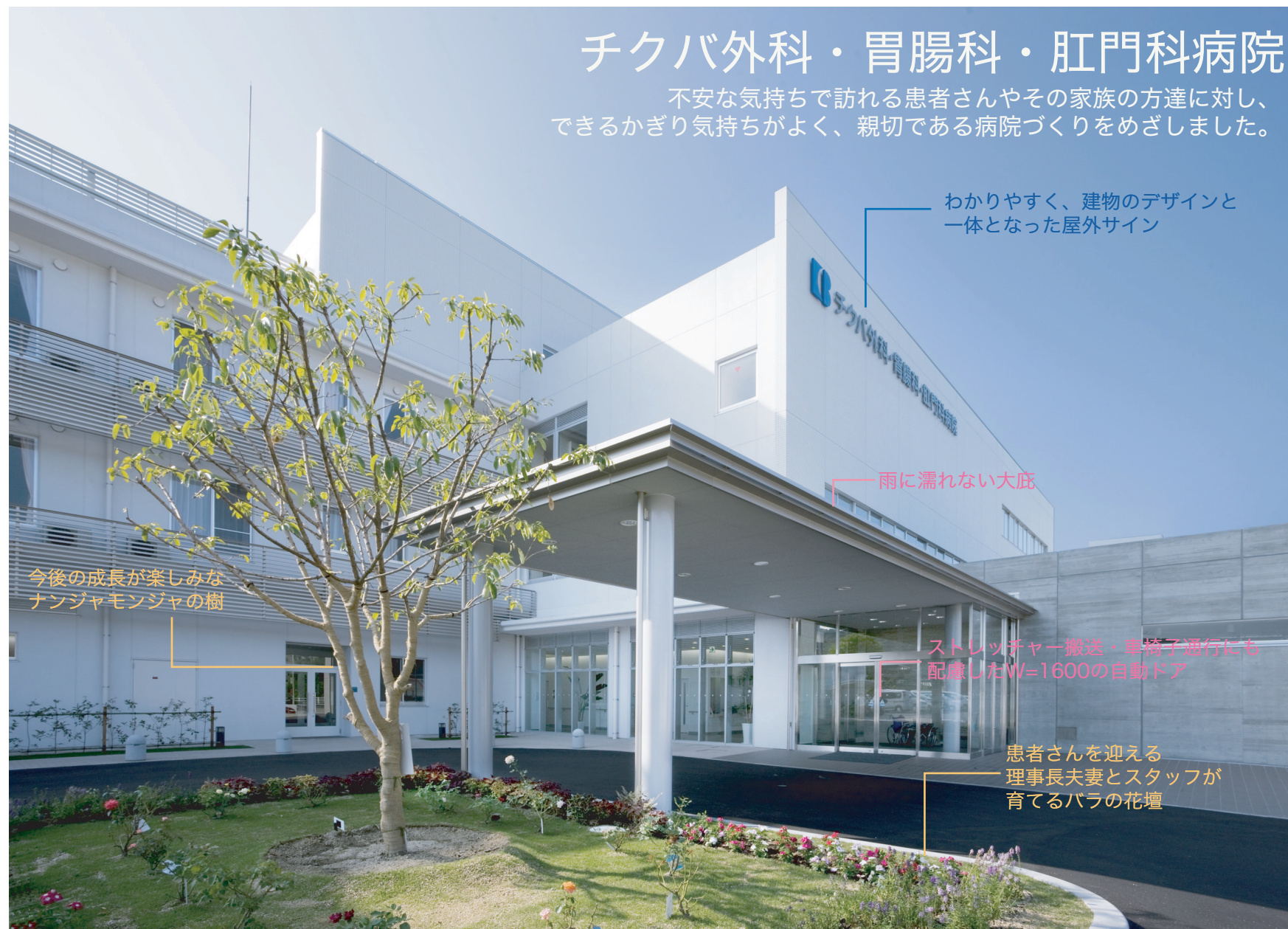


チクバ外科・胃腸科・肛門科病院

不安な気持ちで訪れる患者さんやその家族の方達に対し、
できるかぎり気持ちがよく、親切である病院づくりをめざしました。



1 玄関前

ゆったりとした車まわしを設けました。

車の乗り降りをゆっくりとできるように、もう1台が横を通り抜ける車道幅で計画しました。

車道と歩道は、わかりやすいように仕上げをかえていますが、段差は“±0（ゼロ）”とし、車椅子の方や歩行者の安全性に配慮しています。



2 車椅子対応駐車場

正面玄関車まわしに面し、車椅子対応の駐車スペースを3台分もうけました。



3 衝突防止マーク

病院内のガラスの衝突防止マークは、ひと工夫し、ところどころチクバ病院のマークを入れました。

注意をひくとともに、かわいらしい印象を与えています。



4 総合案内（受付）

入口入ってすぐに、総合案内を設置。

案内が必要な方に、スタッフが、すぐ対応できるように計画しました。

カウンターは、車椅子の方とのやりとりができるよう、低く、足が入られるタイプとしました。



5 総合案内前

総合案内の前には、丸いソファベンチを用意。ちょっとした待ち時間も腰掛けられ、また、反対側の中庭を眺めて座ることもできます。

北側の待合ですが、中庭をとることにより、明るい空間となりました。

写真右のカフェ入口のサイン。患者さんが、間違わないように、病院内で使っている案内サインのデザインとは、全く違うものとししました。



6 内視鏡センター待合

内視鏡センター前の待合。

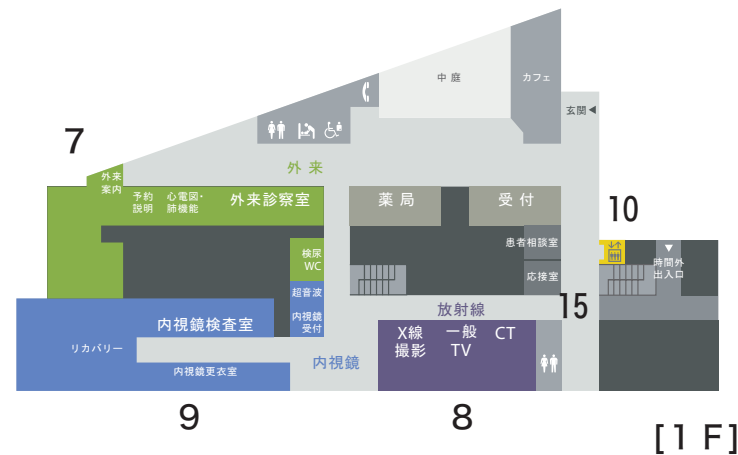
外来診察室前と同じく、こちらも窓に面する、明るい待合空間となっています。



7 - 11 色による案内

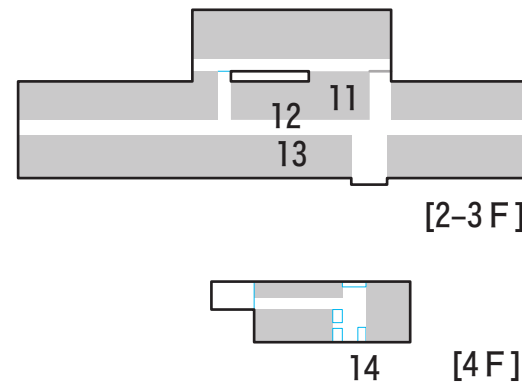
わかりやすさ

文字だけでなく、感覚的にも、場所がわかりやすいように、病院内の各ゾーンを色で分類し、サインや案内図で使用しました。



12 - 15 車椅子の方への配慮

つかいやすさ



車椅子やベッドでの通行に配慮し、廊下は、幅2200以上、出入口は、900（病室は、1300）の幅を確保しています。

家族などお見舞いの方と車椅子の方が一緒に屋上にできるように、屋上へスロープもつけました。



広く明るいトイレ

つかいやすさ

ここちよさ

トイレは、広く明るく計画しました。広さを十分とることで、車椅子の方の利用にも配慮しました。オストメイト対応のトイレも1・2・3Fそれぞれに設けています。

白を基調とし、窓をとることで、トイレが、リフレッシュできる気持ちのよい空間となるように、心がけました。



ほっと一息カフェと中庭

ここちよさ

患者さんやお見舞いの人にとって、病院は、緊張し不安を感じる場所です。

少しでも、気分転換になるように、温かみのあるカフェをもうけました。

また、道路と病院の間の中庭は、四季に応じて変化する木々や、集まってくる小鳥たちが、中庭を眺める人々の気持ちを和ませています。

